



： 卷 頭 言 ：

紫煙の香り

(財)日本植物調節剤研究協会 評議員

(株)エス・ディー・エスバイオテック 取締役技術開発部長

渡辺 司

いきなりですがタバコの話しをさせていただきます。ご安心を!! この文を読んでも副流煙被害は受けません。喫煙者は現在、犯罪者の如くに扱われ罰として重税を払わなければならない立場になってしまいました。『タバコの煙中にはおよそ4,000種類以上の化学物質が含まれていると言われており、そのうち少なくとも200種以上は有害作用を有するとされています。タバコの煙に含まれる3大物質(タール、CO、ニコチン)のうち、発がん性が確認されている物質を含むのは主にタールです』分かっております。この為、愛煙家はニコチン・タール含量を少なくする為、涙ぐましい努力をされておるのでございます。ざっと特許を見ると①フィルターに物理的・化学的に工夫した技術②葉タバコ中に薬剤様物質を混入した技術に2大別されます。①については種々ありまして説明する事は控えます。②ではキサンタンガム、プルラン等の多糖類、又は筒状構造を持った錯体 cucurbituril が薬剤様物質になるようです。但し販売している紙タバコについては企業秘密の為、不明であります。

そもそもタバコはナス科タバコ属の1年草で約50種程度存在するそうです。中でも最も多く栽培されているニコチアナ・タバカムと言う種類はアンデス山脈に分布する二種類の野生種 ニコチアナ・トメントシフォルミスとニコチアナ・シルベストリスニコから出来たとの事。御当地アメリカ大陸の古代文明においては神事祭祀の供物として或いは悪霊払いの薬用として用いられたとか。欧州にはあの有名なコロンブス一行が悪い病氣と共に広げたとの説が有力であります。日本には16世紀頃に南蛮船により伝わったとの事で

す。17世紀後半には福岡在住の宮崎安貞なる人物はタバコの煮汁で病虫害防除を実施したとの事。素晴らしい発見でした。面白い事に江戸時代には庶民に嗜好品として重用されたそうですが「かぶき者」と呼ばれる、ならず者が徒党を組むシンボルとして使った事より幕府は煙草禁止令を出したとの事です。どうもタバコはアウトローの必需品として扱われた様で愛煙家としては甚だ残念であります。

一方欧州では紳士の必需品だったのです。あのシャーロック・ホームズ様が代表格です。当時はパイプタバコが主流でありましてパイプも様々な物がありました。中央ヨーロッパではチロリアン及び、ジャーマンパイプが普及しており火皿には絵が描かれた陶製の物が多かったらしいです。ネ。美術品としても重用されたのがメシャムパイプ。海泡石と呼ばれる鉱物に彫刻を施していました。一般的に馴染みがありホームズ先生ご愛用のパイプがプライヤーパイプ。これは「ホワイヒース」と云うつつじ科の灌木の根が材料だった様です。このプライヤーには形によって夫々名前がついています。私はステム(柄の部分)が曲った「ベント」「ローデシアン」タイプが好みます。ついでに、パイプの扱い方を紹介します。バージンパイプでは先ず最初に火皿の釜の内側に蜂蜜を塗った後、2～3回軽く使用し、釜の内側にカーボン層を作ります。その後本格的に使用しますが掃除の時はこのカーボン層を傷付け無い様注意することが肝要です。又使用中、火皿が熱くなってきたら、止める事が大切です。香りが無くなり辛くなりますので。フー ここで一服。忙中閑あり。